



仙台市立大沢小学校 学校だより

沢っこ No. 4

<http://www.sendai-c.ed.jp/~oosawael/>



〈R3 協働型学校評価〉  
進んで読書活動に取り組む子

令和3年5月26日発行

全校児童263名  
(5月25日現在)

TEL 394-2224

## コロナ禍でも『出来ることを探そう』

このメッセージを1年前の6月、2か月遅れで1学期が始まった時、テレビ放送の始業式で子供たちに伝えました。あれから1年です。今、大沢小学校は、昨年度よりも更に『出来ること探し』をしています。

今年度の「1年生を迎える会」は、4月28日(水)、校庭で実施しました。テレビ放送でも実施可能ですが、「みんなで集まって、お互いの存在を近くに感じながら実施したい。」と、担当の先生から新しい形での提案がありました。当日、2年生から6年生の児童が見守る中に、1年生が登場しました。全校児童でソーシャルディスタンスを取って、



広い校庭に伸び伸び整列しました。昨年は、全校児童が顔を合わせるのは避難訓練だけでしたが、1年生を迎える会では、長い時間、みんなで一緒にいることが出来ました。また、「祝う気持ち」、「楽しい気持ち」を共有することが出来ました。とてもいい時間でした。会の最後に、1年生が校庭を1周行進しました。各学年の先輩たちに「ありがとうございました」とお礼を言いながら、たくさんの拍手に包まれて、1年生もとても楽しそうでした。教室に入ってから、昨年度のうちに収録していた、各学年の「おめでとうビデオ」を全校で視聴しました。体育館で迎える会が実施出来ない時のために、あらかじめビデオ撮影し、編集していたビデオです。何が出来るか、何が可能かを模索し、話し合いを重ねてきた先生方のアイデアがてんこ盛りでした。

また、音楽朝会も、校庭で、マスクをしたまま実施しました。かなりのソーシャルディスタンスのため、隣に並んだ友達の声もなかなか聞こえてこないため、全体としておとなしい音楽朝会となりました。でも、みんなで集まって、実施することが出来ました。大沢小の全校児童の顔が見えるのは、うれしいですね。一体感がありました。晴れた空の下で歌う校歌と児童会の歌は、とてもさわやかでした。いい時間を共有することが出来ました。

6月の運動会は授業参観としての実施となります。一人に3回出場場面のある、運動量が自慢の運動会です。『マスクを外したら、話さない』のルールを一人一人がきちんと守り、感染症対策に自分事として取り組むことで、『出来ること』の可能性が広がっていきます。大沢小学校の伝統、「**全校ヨサコイ乱舞**」を今年は実施する予定です。校庭に曲が流れると、子供たちも大人も、つい窓から練習を見たくなるシーズンを迎えています。当日はどうぞご家族でお越しください。

今、学校では「プールの指導」について、話し合っています。現在のところ、実施する方向で話し合っています。今年度もプールでの指導がないと、3年生以上は2年間水泳が体験出来ず、1・2年生は、入学してから1度もプールに入っていない状況となります。(感染症の状況によっては中止も考えられます。)感染症対策を実施しながらのプール指導は、一度に入る人数を制限したり、使用出来るコースを削減したりする必要が出てきます。それでも、子供たちをプールに入れてあげたい。では、大沢小のプールでは、どのような感染症対策が必要だろうか・・・。

これからも「出来ることを探して」、大沢小学校の教職員一同、知恵を出し合って、協力していきたいと思っています。

校長 菅原 孝代

## 6年・租税教室



4月21日(水)、仙台北税務署から講師の先生をお招きして、6年生が租税教室を行いました。税金の仕組みや大切さについて学びました。当日は自分たちの暮らしが税金によって支えられていることを学ぶことができました。写真は1億円の見本を持っている様子です。子供たち全員で持ち回していくと、1億円の重みに驚いた様子でした。



## 1年生を迎える会



4月28日(水)、1年生を迎える会を実施しました。今年度は感染症対策のため、校庭での実施となりました。全校児童が校庭に集合し、新入生の1年生を迎えました。児童会の歌を一緒に歌った後、1年生は全学年の前を歩き、挨拶をして回りました。教室に戻ってからは、各学年が作成したメッセージビデオを視聴し、先輩たちからのお祝いの気持ちを受け取りました。

大沢小学校の一員として迎えられた1年生の、今後の成長を楽しみにしています。

## 5年生、田植えを行いました

5月19日(水)、5年生が校庭南側にある学校園で田植えを行いました。昨年度の田植えは休校期間だったため、大沢小学校としては2年振りに子供たちが行う田植えとなりました。



当日は青空の下、JA 仙台芋沢青年部様、水土里ネット大倉川様、原・下地域保全連絡会様のご協力を得ながら田植えを行いました。今では田植え機での田植えが主流ですが、この日は昔ながらの手植えを行うため、準備していただいた線引きを使って田んぼに印を付け、一人ずつ、手で苗を植えました。子供たちは泥の感触に歓声を上げながら、一株ずつしっかりと苗を植えていきました。

子供たちにとって、田植えの大変さを実感するとともに、米作りの大切さや農業に従事される方々の思い、食の大切さなどについて改めて考えることのできた一日となりました。今後は秋の収穫に向け、成長する稲の様子を観察しながら、米作りについて学んでいきます。子供たちの田植え体験に尽力いただいた皆様に感謝申し上げ、今後の子供たちの学びを楽しみにしていきたいと思っております。

## お知らせ

- 先日、6年生がプールサイド等の周辺を、教職員がプール内の清掃を実施しました。今年度の水泳学習は、感染症対策を実施しながら行います。水着や用具の準備等、詳細については、後日配付のお知らせをご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。



### 『複数教員による授業の実施』

- 今年度は、どの学年においても、担任以外の教員がいろいろな教科で授業を実施する取組を行っています。子供たちがたくさんの教員と関わりを持つことを目的としています。多くの教員が各学級に入ることによって、複数の目で子供たちの様子を見ることができ、指導に当たることができることも目的の一つです。未実施の学年は、今後実施していきますので、楽しみにしてほしいと思います。